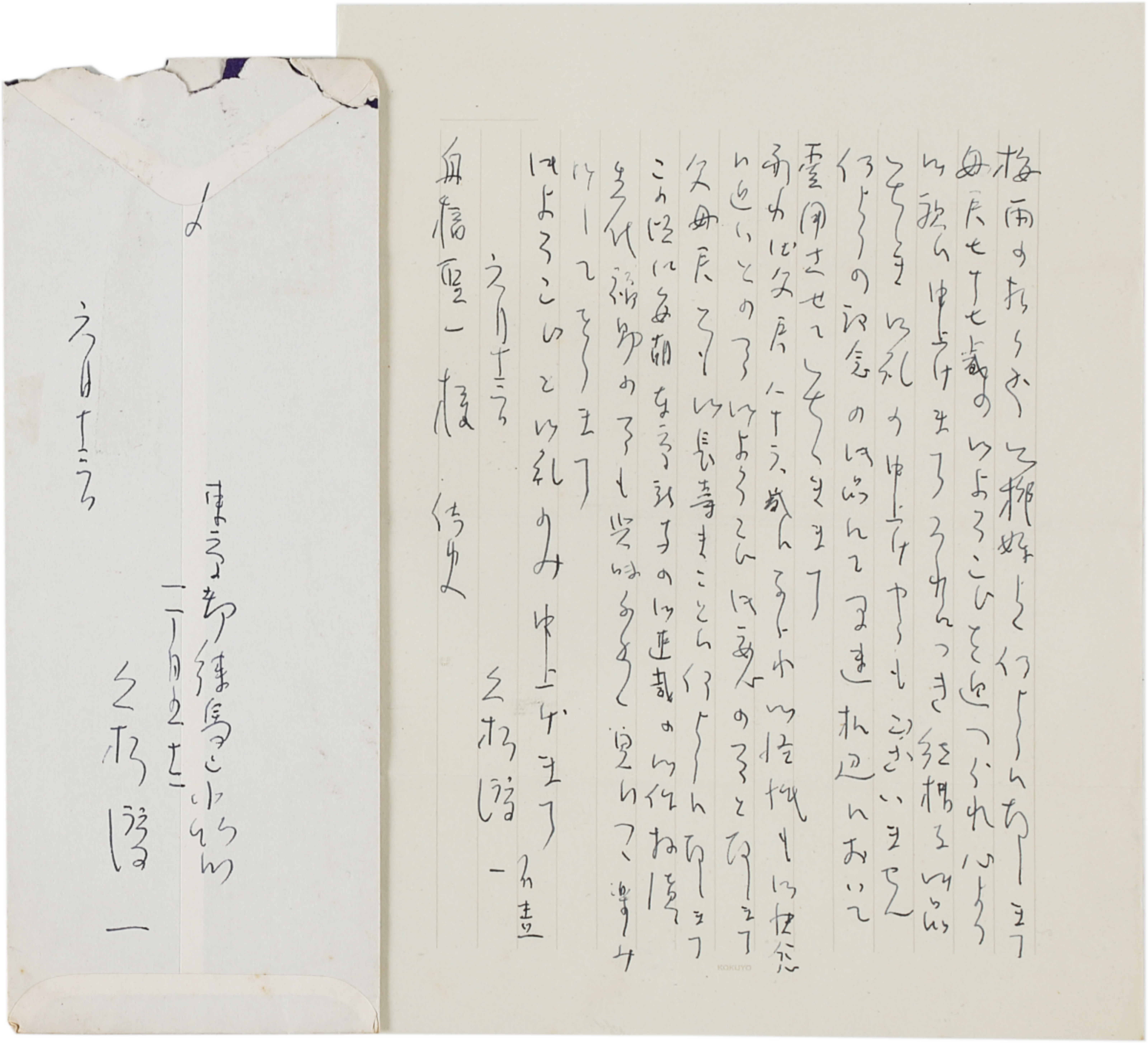

梅雨のおりから御機嫌よく何よりと存じます
母上七十七歳のおよろこびを迎へられ心より
お祝ひ申上げます　それにつき結構なお品
を頂き　お礼の申上げやうもございません
何よりの記念の品として末長く机辺において
愛用させて頂きます
私方は父上八十六歳なれど御健康も御健在
に近いとの事　およろこびは一入の事と存じます
父母上そろって御長寿まことに何よりと存じます
この頃は毎朝東京新聞の御連載の御作を拝読
先代福助の事も興味ふかく思いつゝ楽しみ
にしております
およろこびとお礼のみ申上げます　不尽

六月十三日
久松潜一

舟橋聖一様
侍史

〆

東京都練馬区小竹町
二丁目五十二
久松潜一

六月十三日